

PCSA アクションレポート（不正対策研究部会）

平成 29 年 12 月版

第 138 回不正対策研究部会

- 開催日時 平成 29 年 12 月 15 日（金） 午後 3 時～午後 5 時
- 開催場所 PCSA 会議室
- 出席人数 参加者：講師 3 名、部員 9 名、正会員オブザーバー 2 名、日遊協参加者 3 名、
同友会参加者 1 名、メーカー参加者 1 名、オブザーバー 1 名、合計 20 名
- 出席者 <説明会 講師>
- | | |
|---------|---------------------------|
| 原田 博之 様 | 株式会社三友 取締役 常務 |
| 団野 栄二 様 | 株式会社ビジョンサーチ社 取締役 本部長 |
| 佐藤 宏 様 | 株式会社ビジョンサーチ社 取締役 情報システム部長 |
- <リーダー>
- | | |
|------|--|
| 松本 浩 | 株式会社ヒカリシステム 設備マネジメントグループ メンテナンスチーム アシスタントマネジャー |
|------|--|
- <サブリーダー>
- | | |
|-------|------------------------|
| 倉沢 隆志 | 株式会社ニラク 法務部 コンプライアンス担当 |
|-------|------------------------|
- <部員>
- | | |
|-------|------------------------------------|
| 金子 敦 | 株式会社ダイナム 法務・リスク管理部 リスク管理担当 |
| 梅野 唯行 | 株式会社合田観光商事 セキュリティ課 課長 |
| 上野 誠 | 株式会社ヒカリシステム 設備マネジメントグループ メンテナンスチーム |
| 春原 正愛 | アメニティーズグループ（株式会社アメニティーズ） 監査室 係長 |
| 柏 信吾 | アメニティーズグループ（株式会社パンドラ） 営業支援部 主任 |
| 平井 信行 | 株式会社チアエンタープライズ 総務部 法務担当 Mgr |
| 山本 譲 | 株式会社三永 業務推進課 係長 |
- <正会員オブザーバー>
- | | |
|-------|------------------------|
| 寺島 宗幸 | 株式会社ニラク 法務部 コンプライアンス担当 |
| 磯本 一 | 株式会社キョウサン 課長 |
- <日遊協参加者> 3 名
- <同友会参加者> 1 名
- <メーカー参加者>
- | | |
|---------|--|
| 大庭 義樹 様 | 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 開発本部 セキュリティ対策室 室長 |
|---------|--|
- <オブザーバー>
- | | |
|---------|------------------------------|
| 高石 隆一 様 | 有限会社ジャパン・セキュリティ・サービス 代表取締役社長 |
|---------|------------------------------|

1) 不正対策説明会「AI セキュリティ」

<タイトル>「ホールコンではチェックできない異常台の自動抽出を実現！ まったく新しい発想のセキュリティシステム」

<サービス概要>

本サービスは、営業データ分析システム『AI セキュリティ』を用いることで、貴社データから自動的に異常台データを抽出し、アラートの発報を行うことを目的としています。店舗では見えにくい異常台データの分析結

果を一元管理することで、本社による店舗毎の営業管理システムとしてご利用頂くことが可能です。

<講師>

株式会社三友 取締役常務 原田 博之 様

株式会社ビジョンサーチ社 取締役 本部長 団野 栄二 様

株式会社ビジョンサーチ社 取締役 情報システム部長 佐藤 宏 様

<説明>

何千台の中から異常台をチェックするのは非常に負担が高い。A I セキュリティ導入のメリットは、人的なコスト削減とミスが無い。6千台から怪しい台10台に絞るのに10～20分で出来る。また、過去にさかのぼって数か月分のデータをさらう事も出来る。また、チェックする項目をカスタマイズできる。データを一切外部に出さないスタンドアロンシステムと、コストを抑えられるクラウド版がある。対応可能なホールコンピューターの種類は問わない。複数メーカーのホールコンピューターを使用しているホールにも導入可能。また、カスタマイズによって差玉の枚数もチェックできる。

<質疑応答>

- ・アラートメールの宛先は設定変更可能。
- ・アラートメールを各機種で振り分けることも可能。
- ・内部で使用している異常データなどは CSV 形式なので Excel などで取り扱いが可能。

2) 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 報告事項

- ・サミー株式会社と提携して、遊技機サポートセンターの電話番号を統一した。
- ・スロット D のゴト対策でセレクトターの無償交換を開始した。

3) 内部不正対策

今回は前回に引き続いて「修得したワンデーカード、会員カードの内部不正を防ぐために」がテーマ。具体的な下記事例への予防、対策等が話し合われた。また、次回の部会では、「設定漏えい、不正関係の内部不正防止、抑止に有効であると思われる誓約書、秘密保持契約書」の具体的な事例を数例挙げて、それぞれどう対策したのか、又考えられる防止策をアンケートする。

Q 修得したワンデーカード、会員カードの内部不正を防ぐために何が出来るか。

1. 残金の処理方法に対して
2. スタッフが架空カードを作成する事に対して
3. スタッフが会員カードへ落ち玉、落ちメダルを貯玉する行為に対して
4. 不正とは違うがロッカーに該当のカードを大量に貯めていることに対して
5. 会員カード再発行と貯玉の手入力に関しての内部不正を防ぐ方法

4) ゴト被害アンケート 11 月について

アンケート回答 9 社。電波、加工玉、クレマン、ドツキ、他店持ち込み、レート変更などで、被害件数 30 件、被害額¥391,390-、警察への通報回数が 5 件、被害届申請が 4 件、被害届受理が 0 件となっている。遊技台 E のクレマンゴトの被害額が大きかった。複数社での甚大な被害で継続して注意喚起された。

5) 次回開催

第 139 回不正対策研究部会・第 42 回不正対策勉強会

平成 30 年 1 月 26 日（金） 午後 1 時～午後 5 時 PCSA 会議室

以上